

新型コロナウイルス感染防止に関する基本方針

弊社は、新型コロナウイルス感染症拡大の状況や社会の情勢、政府の方針等を踏まえ、会員のみなさまならびに職員、地域の皆様の健康・安全を第一に考え、すべての施設で感染防止策の強化と運営オペレーションの変更などを実施してまいります。引き続き、安心して運動を楽しんでいただけるように安全な環境を提供し、みなさまの心身の健康に貢献すべく努力してまいります。

また、政府や都道府県の基本方針に則り、感染の拡大防止のため特に注意すべきは集団感染（クラスター）であるとの視点から、1.換気の悪い場所に 2.人が密集して 3.近距離での会話や発声が、同時に行われることがないように十分に留意して、以下の通り運営してまいります。

■施設利用者の管理

- ・会員のみなさまへ感染防止対策の周知とご協力をお願い
- ・会員のみなさま及び保護者のみなさんへ体調確認のご協力をお願い

■職員ならびにスタッフ（アルバイト・業務委託者を含む）の体調確認の徹底

出勤時および自宅等での検温を実施、平熱上回る発熱や風邪の症状、体調不良の場合は入館見送り、経過観察を行います。

■定期的な除菌作業等による館内衛生管理の徹底

- ・定期的な巡回除菌清掃の実施と作業確認の掲示
- ・除菌スプレー、アルコール等を使用した除菌の強化

■密閉の回避（換気の強化）

- ・各エリアの定期的な空気換気（換気設備等の活用も含む）の実施
- ・スタジオレッスンではレッスン間のインターバルを使い、扉や窓等をあけて換気を実施
※当面の間は、スタジオレッスンはお休みさせていただき、状況に応じて再開いたします。

■密集の回避

- ・ロッカーやギャラリーでの長時間の滞在の禁止
- ・スタジオレッスン等の定員制限による参加者の利用間隔の確保
※当面の間は、スタジオレッスンはお休みさせていただき、状況に応じて再開いたします。
- ・トレーニングマシンの利用間隔の確保（一部利用停止）

■密接の回避（近距離での会話・発声等の回避）

- ・マスクの着用
- ・ギャラリーの長椅子の間引きでの設置
- ・スタジオレッスンの順番待ちの工夫（適切な間隔を確保）
- ・スタジオレッスン中の掛け声などの大きな声の発声や、ハイタッチ、握手など接触の回避

附則：施設運営についてのガイドライン

【スタッフが行うべき感染防止対策】

- ① 自宅・業務開始前の体温の測定と体調チェックの記録
- ② 手洗い・うがい・消毒・マスクの着用、生活リズムを崩さず規則正しい生活の奨励
- ③ 熱や軽度であっても、風邪症状（せきや喉の痛み）がある場合、また、嘔吐・下痢の症状がある場合にも所属長へ連絡し、出勤停止の徹底、あわせて同居親族にも同様の症状がみられる場合も所属長の判断を仰ぐこと。
- ④ 平熱上回る高い熱がある、強いだるさや息苦しさがある、味覚・臭覚の異常がある等の場合は、所属長に連絡の上、保健所等に問い合わせする。
- ⑤ 休憩は人数を減らし、対面での食事や会話は行わない（利用者の休憩スペースは撤去する）。休憩場所は常時換気を行い、共用する物品は定期的に消毒する。
- ⑥ スタッフは、プールへの入水以外の業務を行う際には必ずマスクの着用を徹底する。
- ⑦ 出勤時、外出後は手洗い、手指の消毒を行う。
- ⑧ 施設滞在時は、常に人と人との距離を十分確保し密にならないようにする。
また、近距離での会話や発声を避けるように注意をする。
- ⑨ 通常の清掃に加えて、アルコール等を用いて、机やドアノブ、スイッチ、階段の手すり等のよく触れる箇所の消毒を利用者の入れ替え時間等を利用して定期的に行う。
- ⑩ スケジュールを決めてクリーンタイムを設け、館内の消毒や清掃を行い、実施記録を明示する。
- ⑪ プールの塩素（次亜塩素酸ナトリウム等）の残留濃度を1時間毎にチェックする等、厚生労働省の「遊泳用プールの衛生基準」に沿った検査に加え、管理を強化する。
- ⑫ 鼻水や唾液が付いたゴミを回収する際はマスクや手袋を着用して行き、ゴミはビニール袋に密閉して捨てる。ゴミの回収を行った後は石鹸で手を洗い消毒液等を使用する。
- ⑬ 定期的な情報発信を館内掲示やホームページ、メール、SNS等で行い、感染防止の啓発を図る。

<送迎バスの感染防止対策について>

- ① ドライバーはマスクを着用する。
- ② 車内の座席や手すりは乗車の入れ替え時に毎回、消毒液による消毒や清掃を実施する。
- ③ 走行中、窓を可能な範囲で常時開放し、外気導入モードもあわせて車内換気を行う。
- ④ 乗車人数は状況に応じ制限し、席の間隔を空けて着席する。

【施設利用者へ要請すべき感染予防対策】

■ 会員及び保護者のみなさんへ体調確認のご協力をお願い

- ① 感染防止の為、しばらくの間、以下の点を厳守の上ご利用いただくようお願いし、次の症状がある方等、該当する点があるお客様は、ご利用をお断りする。
 - ・ 風邪の症状（くしゃみや咳が出る）や平熱を上回る発熱がある方
※ 来館前に自宅等で検温をお願いする。忘れた方は、フロントにて検温する。
 - ・ 強いだるさ（倦怠感）や息苦しさがある方

- ・咳、痰、胸部に不快感のある方
 - ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ・その他、新型コロナウイルス感染の可能性がある方
 - ・過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要と発表されている国・地域への渡航、並びに当該在住者との濃厚接触がある方
 - ・海外渡航歴がある方および同居されている方は、2 週間以上の経過観察を行う
- ②次の疾病や服薬中の方は新型コロナウイルスに感染した場合、重症化のリスクが高い為、極力ご利用はお控えいただく。
- ・糖尿病、心不全、呼吸器疾患（COPD 等）の基礎疾患がある方や透析を受けている方
 - ・免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方

■会員及び保護者のみなさんへ施設利用時の感染防止のご協力をお願い

- ①利用者は会員又は登録者のみとし、それ以外の者は原則利用できない事とする。
- ②決められた曜日・時間のみ原則利用できる事とし、滞在時間は 2 時間以内を目安とする。
- ③来館時から退館するまで可能な限りマスクを着用する。
- ④備え付けのアルコール等の消毒剤で手指の消毒を行う。
- ⑤自宅で着替えを済ませ、ロッカールームの使用時間をなるべく短縮できるようにする。
- ⑥施設利用中やレッスン中は、不要な私語は控え、近距離での会話や発声を避ける。
- ⑦送迎バスを利用の際には以下の事を徹底する。
 - ・乗車時も可能であれば備え付けのアルコール等の消毒剤で手指の消毒を行う。
 - ・席の間隔を空けて着席する。
 - ・飲食は、禁止とする。
 - ・マスクを着用し、不要な会話は避ける。
 - ・走行中、窓を安全で可能な範囲で常時開放して車内換気を行うので、顔や手を出さないように気を付ける。
- ⑧ギャラリーでの観覧を必要時以外は避ける。または間隔を空けて密を避ける。
- ⑨ギャラリーでは、必ずマスクを着用し、近距離での会話や発声を避ける。

【施設の感染防止対策】

■フロント（入口・受付等）

- ①入退館時の手指の消毒用に備え付けのアルコール消毒液等を設置する。
- ②来館者に対して分かりやすいように入口（フロント）付近や通路に感染予防対策の注意書きの掲示や必要に応じて職員による体調確認の声掛け等を行う。
- ③接触を避ける為にコイントレーを活用した現金・カードの受け渡し等工夫する。
- ④パーテーションや目印を設置し、入館から退館までの混雑を解消する。
※構造上難しい場合は、入退館者の時間に間隔を空ける等の工夫をすること
- ⑤フロントにはビニールカーテン等のパーテーションを必要に応じて設置し、飛沫感染予防を行う。

■観覧席（ギャラリー）

- ①保護者の観覧を必要時以外は原則禁止又は人数制限やベンチを間引いて間隔を空ける等対応し、密を避ける。
- ②来館者に対して分かりやすいように感染防止対策の注意書きを掲示する。
- ③換気扇を回す、窓を開ける等十分な換気量を確保する。

■更衣室（ロッカー）

- ①密を避ける為に入室人数の制限や時間差で更衣を行うように誘導する。
- ②窓やドアを開け、換気を十分に行う。※空調の点検も徹底する。
- ③定期的にアルコール等による消毒作業を行う。
- ④更衣室の面積や形状にあわせてロッカー等の使用間隔を十分に確保する。
- ⑤体操場等広いスペースがある場合には、その場所を更衣に使用する等工夫する。
- ⑥滞在時間短縮の為、乳幼児・学童は衣服の下に水着を着用して来館するよう指導する。

■プールエリア

プール施設は、国の衛生基準に基づき、室内換気、プール水の循環を常時、更に衛生機関による水質検査を毎月実施し、常に保健所の厳しい指導の元、営業しています。プール施設の環境は、ウィルスの不活性化能力が高い次亜塩素酸ナトリウム等による消毒（現在感染予防に広く使われている消毒液）が常に施され、一定の濃度を保っています。また、プールの水は常に循環しており、ろ過機を通る事により常に清潔に保たれています。湿度も50～60%が維持されている事から、感染防止に優れ、感染リスクが低い環境となっています。この厳しい基準をクリアした安全性の高い環境を堅持する事は新型コロナウイルス感染防止上も必須となっており、追加で感染防止対策をさらに徹底する事により、全国各地のスイミングスクールにてクラスターが発生していない現状を引き続き、維持していく必要があります。

- ①湿度に注意し、換気扇を回す、窓を開ける等実施し、十分な換気量を確保する。
- ②プール内、プールサイドでは、人と人との距離を十分確保し、密にならないように工夫する。また、近距離での会話や発声を避けるように声掛けをする。
- ③プール退水後はシャワーをしっかりと浴び全身をくまなく洗う。
- ④濡れた頭や体はプールサイド等広いスペースでよく拭き取り、更衣室の使用時間を短縮する。

■スポーツジムエリア

- ①換気扇を回す、窓を開ける等実施し、十分な換気量を確保する。
- ②利用者には、原則マスクの着用をお願いする。
- ③トレーニングマシン利用時は間隔を空けるようにする。また、マシンを間引きをする。
- ④トレーニングマシン利用後は備え付けの除菌スプレーを使用し、消毒する。
- ⑤カウンターにはビニールカーテン等のパーテーションを必要に応じて設置し、飛沫感染予防を行う。

■スタジオプログラム

- ①スタジオプログラムについては、十分な換気を行うため、定期的な換気の設定を行うとともに、換気の為のサーキュレーター設置やオゾン滅菌機等を設置する。
- ②レッスン中のお客様とインストラクターの距離（間隔）、お客様同士の距離を十分に確保するため、定員制限を実施する。
- ③換気・除菌・清掃の時間を確保するため、レッスン時間短縮等スケジュールを変更する。

- ④全プログラム掛け声などの大きな発声を控える。
- ⑤プログラム中および終了時のハイタッチ等の接触を控える。
- ⑥マットなど器具を使用するプログラムは終了時に除菌する。

■その他

- ①施設や諸室は、平米数に応じて入場者の人数制限や使用を禁止する。
- ②ドアノブや手すり等のよく触れる箇所を定期的に消毒する。
- ③水着脱水機、ハンドドライヤーや共通のタオルを撤去や使用できないようにする。
- ④施設の形状により、換気の為のサーキュレーターやオゾン滅菌機の設置等を検討し、感染リスクを抑える。
- ⑤準備体操は体操場では行わず、プールサイドにて行う等の施設形状に合わせて工夫し、間隔を広く取り実施できるようにする。
- ⑥館内放送等を活用し、滞在時間の短縮の周知徹底を図る。

以上

弊社スタッフ一丸となり、ガイドラインを遵守した取り組みによる感染防止対策の徹底を実施し、地域のみなさまに安全な環境を提供し、青少年の健全育成や心身の健康増進に貢献すべく全力を挙げて努力してまいります。

引き続き、ご理解ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。